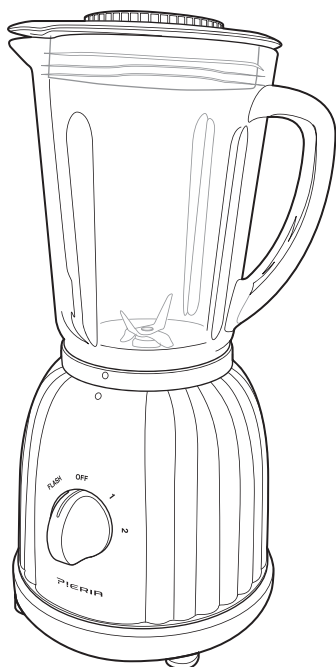


コンパクトジュースミキサー JMS-25A/JMS-25B

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあと、もいつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意	P. 2～3
各部の名称とはたらき	P. 4
正しい使いかた	P. 5～6
調理例	P. 7
お手入れと保存	P. 8
修理・サービスを依頼する前に	P. 9
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙



仕 様

品 名	コンパクトジュースミキサー
型 名	JMS-25A / JMS-25B
電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	210 W
定格容量	600 ml
定格時間	2 分
電源コード長さ	約 1.5 m
寸 法	約 幅 16 × 奥行 16 × 高さ 29 cm
質 量	約 1.7 kg



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意








- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)




図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

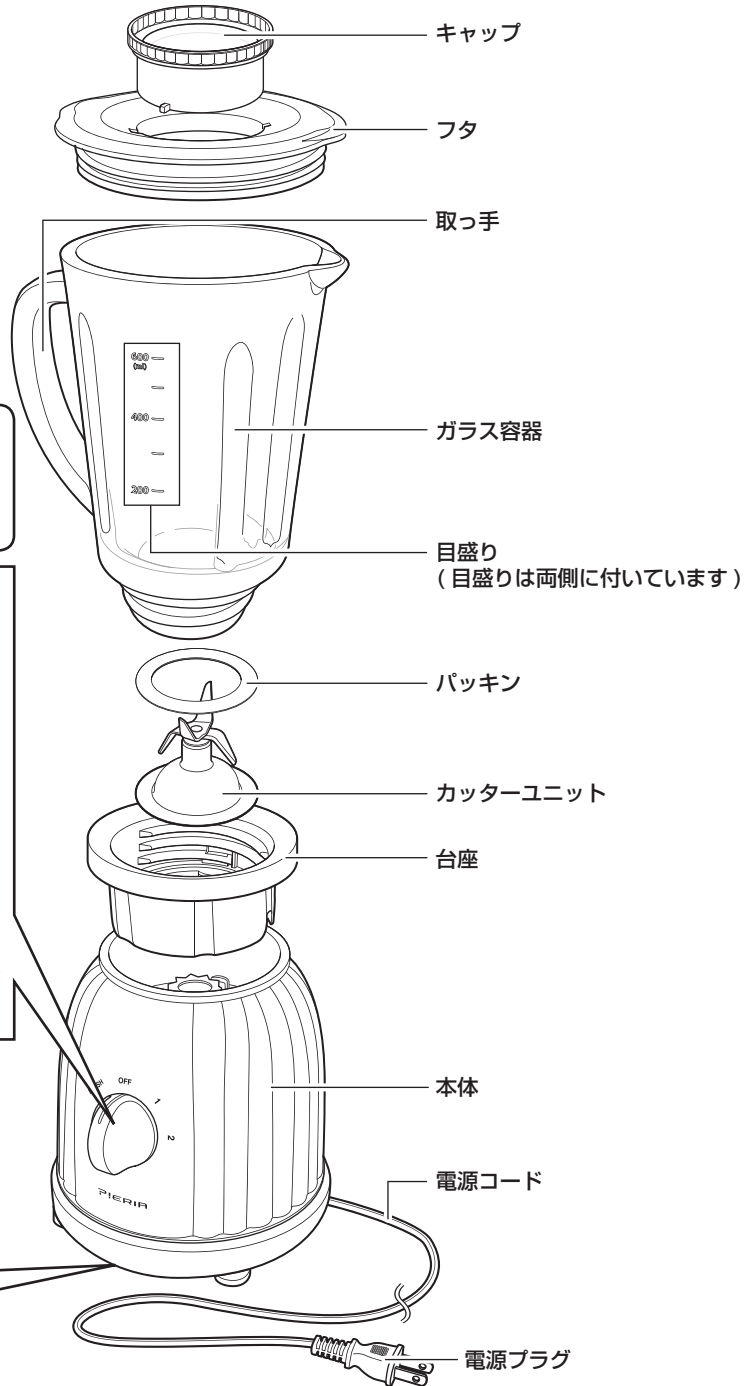
警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 プラグを抜く	使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けがややけど、感電の原因になります。	 分解禁止	お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電や異常運転してけがの原因になります。		分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店またはドゥンシヤお客様相談室（裏表紙をご参照ください）にご相談ください。
	ガラス容器の中に指や箸、スプーンなど調理食材以外のものを入れない。 けがや故障の原因になることがあります。		 めれ手禁止
業務用として使用しない。調理以外に使用しない。 本製品は家庭用・調理用として設計・製造されていません。業務用としての使用、調理以外の使用は、絶対しないでください。	 水ぬれ禁止	本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。	
 使用禁止	異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用しない。 火災・感電の原因になります。		
	使用温度範囲外(0°C以下、40°C以上)では使用せず、使用温度範囲内でも2分間以上の連続使用をしない。 故障の原因になります。		

⚠ 注意

 指示	運転は部品を正しく取り付けてから行なう。 水漏れや故障の原因になることがあります。	 禁止	カッターが付いた台座だけを本体の上に置かない。 けがや故障の原因になることがあります。
	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電やショートの原因になることがあります。		カッターに直接手を触れない。 けがの原因になることがあります。
	調理する量、水分、食材に十分注意して運転する。 ・容量が最大(600ml)超、または全体の1/3より少ない ・水分が少ない・粘り気が多い食材のみ・固い食材のみなど、故障の原因になることがあります。		運転中に移動しない。 けがや故障の原因になることがあります。
 禁止	40°C以上の熱い食材をガラス容器に入れない。 ふきこぼれによるやけどやガラス容器の割れ・変形によってけがの原因になることがあります。		カッターや回転部を露出させた状態で運転しない。 けがの原因になることがあります。
	食材が多すぎたり、その他の原因で回転が止まったときは、そのままの状態では使わない。 けがや故障の原因になることがあります。		運転中にガラス容器の取りはずしはしない。 けがや故障の原因になることがあります。
	空回ししない。極端に少ない食材で使用しない。 けがや故障の原因になることがあります。		お手入れするときは、食器用洗淨機、食器用乾燥機を使用しない。 熱により変形したり故障の原因になることがあります。
	本体の底面にある通気口をふさがない。 故障の原因になることがあります。		
	不安定な場所では使わない。 けがや故障の原因になることがあります。		

各部の名称とはたらき



注意
FLASHから手を離すときは、いきおいよく離さない。操作スイッチが1や2まで回り、動きつづける原因になります。

操作スイッチ
回して操作します。1と2は固定されますが、FLASHは固定されず、手をはなすとOFFになります。

FLASH まわしている間だけ高速運転します

OFF 運転停止します

OFF

1 低速運転します

2 高速運転します

底面の通気口
内部のモーターを冷やすため、ふさがないようにしてください。

警告 電源コードを束ねたまま使用しない。

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1 個	フタ.....	1 個
ガラス容器.....	1 個	キャップ.....	1 個
台座 (カッターユニット、パッキン).....	1 個	取扱説明書 (保証書含む).....	1 個

※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、使用后、製品を収納するときに必要なので捨てないでください。

正しい使いかた

使用前の準備

1. 本体を正しく設置する

- 安定した水平な台の上に設置してください。
- 購入後初めて使用するときには、本体以外の部分をよく洗って十分乾燥させてから使用してください。

2. 台座・カッターユニット・パッキン・ガラス容器が正しく取り付けられているか確認する

右図のように順番に正しく取り付けられているか確認してください。

- 台座の底にカッターユニットを置き、カッターユニットの上にパッキンを置き、ガラス容器を台座に矢印の方向に止まるまでしっかり回して取り付けます。



注意

- カッターに直接手を触れない。けがの原因となります。
- ガラス容器はしっかり締め付ける。水漏れし本体の故障の原因となります。

3. ガラス容器を本体にのせる

右図のように台座の丸印を本体の丸印に合わせてのせてください。

- 取っ手の向きは左側だけでなく右側にしても取り付けることができます。

※正しく本体にのせていないと安全装置が働いて、運転しません。

運転を開始／停止する

1. ガラス容器に食材を入れる

フタをひらき、食材を固体のかたいものから順に入れ、最後に液体を入れてください。食材には、水や牛乳などの水分を必ず加えてください。

- ガラス容器に刻印されている、定格容量(最大容量)の線(600ml)以上は入れないでください。
- ガラス容器は耐熱性が高くないため、40°C以上の食材は入れないでください。
- 食材が少なすぎても正常に運転しません。食材はガラス容器のおよそ 1/3 (約 200ml) 以上、入れるようにしてください。
- 固体の食材は 2cm 角くらいに切ってから、入れてください。
- 氷を入れるときは液体を入れる前に入れます。



キャップ
フタ

ガラス容器

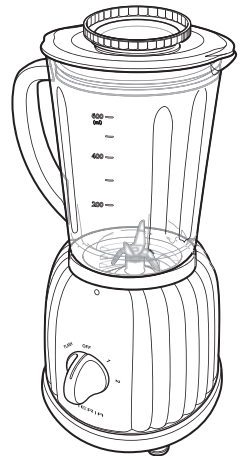
パッキン

カッターユニット

台座



台座+ガラス容器
※以下「ガラス容器」



(約2cm角に切った)

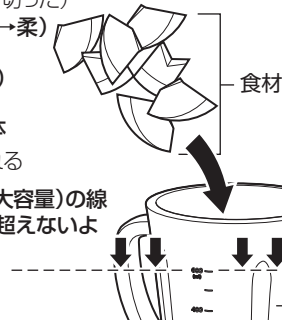
① 固体(硬→柔)

② (氷)

③ 液体

の順番に入れる

定格容量(最大容量)の線
(600ml)を超えないようにします



定格容量
(最大容量)

ガラス容器



注意

- 食材を定格容量(最大容量)の線以上入れない。
- 食材を1/3(約200ml)以上入れない。
- 40°C以上の食材を入れない。
- 食材には、水や牛乳などの水分を必ず加える。
- 粘りが出る食材(小麦粉など)は使用しない。本体に大きな負担をかけ、故障の原因となります。
- 飲み物を作る目的以外に使用しない。
- 食材以外のものを入れない。

正しい使いかた (つづき)

2. ガラス容器にフタとキャップを取り付ける

しっかり取り付けないと、調理中にもれたりする原因になります。

※キャップは必ず右に回しフタに固定してください。

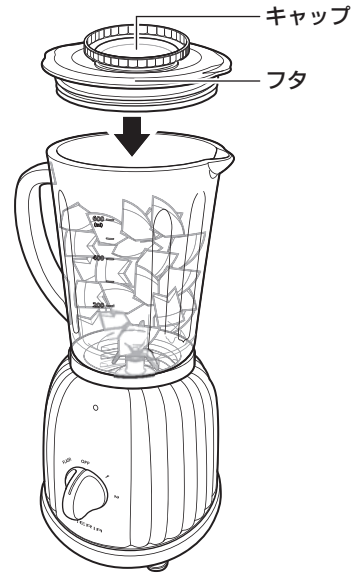
3. 操作スイッチが OFF の位置になっていることを確認する

OFF の位置になっていないときは OFF の位置にしてください。

4. 電源プラグをコンセントに差し込む



ガラス容器を本体に取り付けない状態では電源プラグをコンセントに差し込まない。ガラス容器をのせたときに突然動き出すなど事故や破損、けがの原因になります。



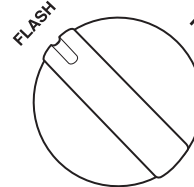
5. 運転を開始／停止する

操作スイッチを操作して運転させます。

- 操作スイッチを「1」(低速運転)または「2」(高速運転)に合わせると運転を続けます。停止させるときは、操作スイッチを「OFF」に合わせます。
- 操作スイッチを「FLASH」に合わせると、合わせている間だけ運転します(フラッシュ運転)。離すと操作スイッチは「OFF」に戻り、運転を停止します。

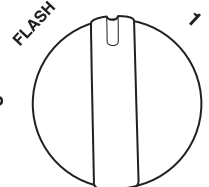
※ガラス容器が本体に正しく取り付けられていないと、安全装置により運転しません。

FLASH(フラッシュ)運転
OFF

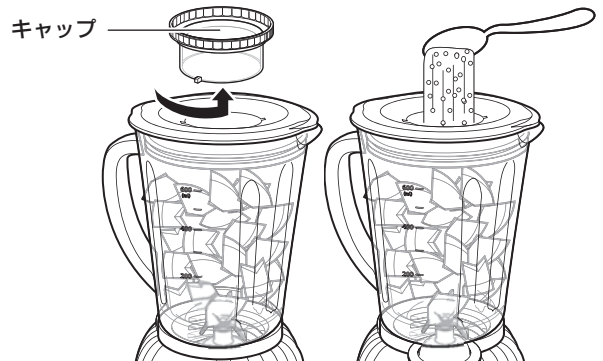
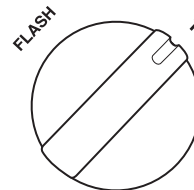


1 低速運転
OFF

OFF 切
OFF



2 高速運転
OFF



- 2分間以上の連続運転をしない。
- 2分間連続運転を行なったあとは、必ず3分間以上運転をしない。
- 異常音がしたり振動が大きいとき、回転が止まりそうなき、または回転しないときは運転を停止する。ガラス容器を取りはずし、食材を減らしてください。



食材が細かくなるときは運転を停止する。本体からガラス容器を取りはずし、上下に振ってから再度取り付け運転を再開してください。

6. 食材や調味料の追加、ガラス容器の中身を混ぜたいときはキャップをはずして対応する

キャップは左に回し、持ち上げると取りはずすことができます。

- 運転中にはキャップをはずさないでください。
- 運転するときには必ずキャップを取り付けてください。

※キャップは必ず右に回しフタに固定してください。

7. 調理が終わったら、ガラス容器を本体から取りはずし、電源プラグをコンセントから抜く



使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。

調理例

⚠注意

- 粘りが出る食材(小麦粉など)は使用しない。本体に大きな負担をかけ、故障の原因となります。
- 飲み物を作る目的以外に使用しない。

バナナジュース

作りかた

- (1) ①バナナは皮をむき、2cm 角の大きさに切ります。
- (2) ①バナナから②角氷、③牛乳の順にガラス容器に入れ、約 30～40 秒運転します。(必要に応じて水(または牛乳)を加えてください。)

材 料

- ① バナナ 1 本 (約 100g)
- ② 角氷 (約 2cm 角) 2～3 個
- ③ 牛乳 125ml

にんじんジュース

作りかた

- (1) ①にんじんと②りんごは皮をむき、2cm 角の大きさに切ります。
- (2) ①にんじんから②りんご、③はちみつ、④角氷、⑤水(または牛乳)の順にガラス容器に入れ、約 50～60 秒運転します。(必要に応じて水(または牛乳)を加えてください。)

材 料

- ① にんじん 1/2 本 (約 60g)
- ② りんご 1/4 個 (約 60g)
- ③ はちみつ 適量
- ④ 角氷 (約 2cm 角) 2～3 個
- ⑤ 水 (または牛乳) 150ml

スムージー

作りかた

- (1) ①ブルーベリーから②はちみつ、③ヨーグルト、④角氷、⑤牛乳の順にガラス容器に入れ、約 30～40 秒運転します。(必要に応じて水(または牛乳)を加えてください。)

材 料

- ① ブルーベリー 50g
- ② はちみつ 小さじ 1～2 杯
- ③ ヨーグルト 25g
- ④ 角氷 (約 2cm 角) 5 個
- ⑤ 牛乳 50ml

●フルーツジュースを作るコツ

牛乳、生クリーム、カッテージチーズ、ヨーグルトなどの身近にある乳製品を加えると、レパートリーが広がります。(苦みがあるときはレモン果汁を加えてみてください。)

また、甘みが足りないときは、砂糖などに比べてカロリーの高いオリゴ糖や、ミネラル分を多く含んでいる黒砂糖や蜂蜜を加えてみましょう

●冷たいジュースを作るコツ

冷たいジュースを作るときは、食材に角氷(約 2cm)を 1 人前につき 1～2 個加えてください。

※ 大きな氷や市販の氷(ロックアイス)は使用しないでください。故障やカッターの刃の破損の原因になります。

●野菜ジュースを作るコツ

野菜には、特有の苦みや土臭さがあります。気になるときは、皮をむいたり、少量の蜂蜜を加えると飲みやすくなります。

また、りんごやオレンジ、レモン果汁を加えても、飲みやすくなります。

●水分の少ない素材でジュースを作るコツ

水分の少ない素材でジュースを作るときは、水や牛乳を加えて調整してください。

お手入れと保存



警告

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電やけがの原因になります

お願い

- ・住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- ・本体は水をかけて洗わないでください。
感電・故障の原因になります。

本体

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤（柑橘系を除く）に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つく原因となることがあります。）

- ・本体内部を冷やすために運転中空気を底面から取り入れているため、底面にホコリがたまる場合があります。掃除機で底面のホコリを吸い取ってください。

本体以外

本体以外はすべて水洗いすることができます。

台座、カッターユニット、パッキン、ガラス容器、フタ、キャップをすべて取りはずし、食器用中性洗剤（柑橘系を除く）を入れたぬるま湯に浸し、時間をおいてからスポンジやブラシなどで洗ってください。すべて十分にすすいで、よく乾燥させます。



注意

カッターに直接手を触れない。
けがの原因になります。

保存のしかた

- ・お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ・取りはずした上記6点の部品を元通りに取り付けてください。
- ・ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
操作スイッチを操作しても カッターが回転しない	・電源プラグが抜けている	電源プラグをしっかり差し込む
	・食材が多すぎる	食材を取り出して適切な量にする
	・食材が大きすぎる	食材を取り出して適切な大きさにする
	・ガラス容器が本体に対して正しく のっていない	ガラス容器をただしくのせる
	・直前に数分間連続使用をしていた (安全装置が働いて運転を止めて います)	30分以上使用しない (2分間以上連続運転をしない)
使用中運転が止まる 振動が大きい	・食材が大きすぎる	食材を小さくする
	・食材が多すぎる	食材を少なくする
ガラス容器と台座の間から 食材がもれる	・ガラス容器と台座が正しく取り付 けられていない	一度取りはずして、正しく取り付け、 確実に止まるまで締め付ける (5ページ参照)
	・パッキンが正しく入っていない	パッキンを正しく入れる
ガラス容器とフタの間から 食材がもれる	・ガラス容器とフタが正しく取り付 けられていない	一度取りはずして、正しく取り付ける
フタとキャップの間から食 材がもれる	・キャップが正しくロックされてい ない	キャップをフタに差し込み、右に回 してロックする
カッターがから回りする	・食材の種類や組み合わせ、比率に よってガラス容器壁面に付いたり、 分離してしまうことがあります	本体からはずして、上下左右に振る などしてカッターユニット周りの食 材を落とす・混ぜる
	・食材が少なすぎる	食材を増やす(ガラス容器の1/3 程度は食材を入れてください)

長年ご使用のジュースマキサーはよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに操作スイッチを「OFF」にし、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

MEMO

MEMO